

令和7年度

職場におけるハラスメントに関する職員アンケート

【結果概要】

令和8年3月

総合政策部人事課

■ 調査概要

(1) 調査目的

職場におけるハラスメントの発生状況（受けた又は受けたと感じた経験の有無、見たり相談を受けたりした経験の有無等）、予防・解決のための取組に関する認識等について、実態を把握することで、ハラスメント相談窓口の運営等の実効的な取組に活用します。

(2) 調査対象者

病院企業職員及び消防職員を除くすべての市職員（会計年度任用職員を含む。）

(3) 有効回収数

881 件（回答率 約 48.2%）

（対象者数 1,827 人（令和 7 年 9 月 1 日時点の職員数））

(4) 調査実施時期

令和 7 年 9 月 1 日（月）から 9 月 26 日（金）まで

(5) 調査依頼方法・回答方法

調査対象職員が所属する部署に対して依頼を行い、対象職員は、専用のアンケートサイトにより直接回答しました。

なお、対象職員には匿名での回答を求めており、回答者個人及び回答者の所属部署は特定していません。

■ 回答者（881人）の属性について

（1）性別

男性	237人	27%
女性	600人	68%
回答しない	44人	5%

（2）年齢

29歳以下	110人	13%
30代	162人	19%
40代	187人	21%
50代	232人	26%
60代以上	134人	15%
回答しない	56人	6%

（3）任用形態

正規職員 (再任用職員を含む)	433人	49%
会計年度任用職員	448人	51%

(4) 職種

事務職	293 人	33%
保育士職	305 人	35%
技能労務職	38 人	4%
回答しない	101 人	12%
その他	144 人	16%

■ ハラスメントの理解について

ハラスメント行為について、「内容を理解している」と回答した職員の割合は 86%となっており、多くの職員がハラスメントの内容を理解していることがわかりました。

内容を理解している	759 人	86%
内容をあまり理解していない	120 人	14%
内容をまったく理解していない	2 人	※ 0%

■ ハラスメントの実態について〈過去3年間〉

(1) ハラスメントを受けた(受けたと感じた)経験について

「セクシュアル・ハラスメントを受けたと感じたことがある」と回答した職員の割合は2%、「パワー・ハラスメントを受けたと感じたことがある」と回答した職員は15%、「妊娠、出産、育児または介護に関するハラスメントを受けたと感じたことがある」と回答した職員は1%、「その他のハラスメントを受けたと感じたことがある」と回答した職員は5%で「パワー・ハラスメント」が最も多くなっています。

セクシュアル・ハラスメントを受けたと感じたことがある	18人	2%
パワー・ハラスメントを受けたと感じたことがある	132人	15%
妊娠、出産、育児または介護に関するハラスメントを受けたと感じたことがある	12人	1%
その他のハラスメントを受けたと感じたことがある	41人	5%
いずれのハラスメントも受けたと感じたことはない	594人	67%
わからない	123人	14%

※複数回答を認めているため、合計値が881人(100%)ではありません。

(2) 回答者が受けた(受けたと感じた)セクシュアル・ハラスメント行為

性的な冗談やからかい	12人
性的な事実関係に関する質問	3人
食事やデートへの執拗な誘い	2人
不必要な身体への接触	2人
性的な関係の強要	1人

その他	5人
-----	----

※複数回答を認めているため、合計値が18人（100%）ではありません。

（3）回答者が受けた（受けたと感じた）パワー・ハラスメント行為

暴行・傷害（身体的な攻撃）	2人
脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言（精神的な攻撃）	57人
隔離・仲間外し・無視（人間関係からの切り離し）	33人
執拗な非難、威圧的な行為	68人
業務上明らかに不要なこと、遂行不可能なことの強制、仕事の妨害（過大な要求）	41人
業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと（過小な要求）	15人
私的なことに過度に立ち入ること（個の侵害）	12人
その他	11人

※複数回答を認めているため、合計値が132人（100%）ではありません。

（4）回答者が受けた（受けたと感じた）妊娠、出産、育児または介護に関するハラスメント行為

制度等の利用の相談や請求をしたところ、利用や請求をしないよう言われた	5人
制度の相談や請求、利用をしたことにより、不利益な扱いを受けるような発言を受けた	2人
制度等を利用したことで、繰り返しもしくは継続的に嫌がらせを受けた	1人

その他	5人
-----	----

※複数回答を認めているため、合計値が12人（100%）ではありません。

(5) 回答者が受けた（受けたと感じた）その他のハラスメント行為（回答から
主なものを抜粋）

- ・ スメル・ハラスメント（体臭や香水、タバコなどの「臭い」が原因で他者に不快感を与えること）
- ・ アルコール・ハラスメント（飲酒の強要、意図的な酔いつぶし、酔った上での暴言・暴力、セクハラ、その他のひんしゆく行為）
- ・ 不機嫌ハラスメント（不機嫌な態度や言動を通じて他人に不快感や精神的な苦痛を与える行為）
- ・ ハラスメント・ハラスメント（正当な指導、注意等に対して過剰に反応し「ハラスメントだ」と主張して相手を攻撃・萎縮させる行為）

(6) ハラスメント行為をした人

ハラスメント行為をした人は、いずれのハラスメントでも「上司」が最も多くなっていますが、「同僚」「部下」という回答もみられました。

	上司	同僚	部下	その他
セクシュアル・ハラスメント	12人	4人	2人	3人
パワー・ハラスメント	95人	39人	3人	15人
妊娠、出産、育児または介護に関するハラスメント	10人	3人	1人	3人
その他のハラスメント	21人	17人	3人	10人

(7) ハラスメント行為を受けてとった行動

ハラスメント行為を受けてとった行動として、「家族や職場外の友人に相談した」「職場の同僚に相談した」と回答した職員がいずれのハラスメントでも多くみられました。その一方で、「何もしなかった」と回答した職員も一定数存在しており、理由としては「何をしても解決しないと思った」「自分が我慢すればよいと思った」という回答が多くみられました。

■ 本市のハラスメントの予防・解決に向けた対応について

本市のハラスメントに対する取組への評価について、「どちらともいえない」と回答した職員が最も多くなっています。また、「そう思う」以外の回答（「どちらともいえない」、「そう思わない」、「わからない」）が全体の7割以上を占めています。

いずれの問いでも、「そう思う」と回答した職員の割合は3割以下に留まっています。特に「本市では、ハラスメントを受けたとき、見たり聞いたりしたときに、安心して相談できる体制になっていると思いますか。」という問いに対して、「そう思う」と回答した職員の割合は17%と最も低くなっています。

(1) 本市では、ハラスメント行為を許さず、働きやすい環境づくりに努めていると思いますか。

そう思う	226人	26%
どちらともいえない	345人	39%
そう思わない	155人	18%
わからない	155人	18%

- (2) 本市では、ハラスメントを受けたとき、見たり聞いたりしたときに、誰あるいはどこに相談すればよいのか、明確になっていると思いますか。

そう思う	206 人	23%
どちらともいえない	294 人	33%
そう思わない	208 人	24%
わからない	173 人	20%

- (3) 本市では、ハラスメントを受けたとき、見たり聞いたりしたときに、安心して相談できる体制になっていると思いますか。

そう思う	153 人	17%
どちらともいえない	308 人	35%
そう思わない	236 人	27%
わからない	184 人	21%

- (4) 本市では、ハラスメントについて研修を行うなど、予防・解決のための取組を行っていると思いますか。

そう思う	192 人	22%
どちらともいえない	307 人	35%
そう思わない	175 人	20%
わからない	207 人	23%